

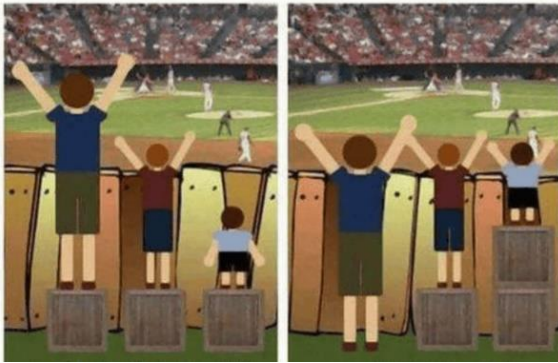


全校道徳

大中っ子の心を見つめる教育週間

A

B



台風一過。台風に備えた臨時休業等もあり、けがや大きな被害の報告がなかったことにひとまず安心しました。

7月4日(月)6校時、「命」について考える教育週間の取組の一つとして、校長による全校道徳では、「本質的な平等とは何かを明らかにする」ことを目指して授業を行いました。

左のA、Bの図を見てください。

Aは一人1個ずつの踏み台を平等に使っている。

Bは使っている踏み台の数は平等ではありません。

AとBではどちらが「本質的な平等」に迫っているといえるのでしょうか。生徒たちは身近なところでも似たようなことがあるか、グループで協議をして本当の意味での平等をグループの全員が納得いくまで話し合いました。

「命」について考える教育週間なぜ「本質的な平等」について学ぶのか不思議に思われる保護者もいらっしゃるかと思

います。「本質的な平等」は互いを認め合い、思いやる気持ち、「配慮」がなければ生まれないものです。形だけの平等にとらわれ、大切なことを見逃していないか考える必要があると思います。様々な人が集まって社会は形成されています。それぞれに応じた配慮が行われることで、公平な環境が整い、誰もが安心して生活していくことができる、つまり「命」が保障されていくのだと考えて授業を行いました。



互いの存在そのものを認め、尊重していくことが当たり前で、「命」を大切にできる社会をつくることは、いじめや差別をもなくしていきます。広い視野に立つと、戦争もなくすことにつながります。授業の最後に、左の図を見て「公平」の先についても、更に考えを深めました。左の図から考えられること、授業の感想も含め、各御家庭でもお子様とお話ししていただくと嬉しく思います。

夏休みの教育相談について

すでに各学級担任から、1・2年生は担任と保護者の二者面談、3年生は生徒も含めた三者面談の日程案が出されていることと思います。日程の調整に協力いただき、ありがとうございました。御多用とは存じますが、よろしく願いいたします。

保護者様との面談に先駆け、担任と生徒との面談も7月8日(金)から始まります。

7月7日(木) 道徳公開授業

13:50より、各学級において道徳公開授業を行います。各学年ごとに設定されたテーマに沿った道徳の授業で、「命」について考えます。明日は運動場を駐車場として開放いたします。多くの保護者の皆様の御来校をお待ちしています。

また、出欠のアンケートで欠席とされていても、御都合がつかれましたら、ぜひ、御参観願います。



SDGs を意識した教育活動

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「SDGs」という言葉を耳にしたり、上のようなロゴが入ったポスターを目にしたりする機会が増えたことと思います。SDGs(Sustainable Development Goals)とは、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17 のゴール・169 のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない(leave no one behind)」ことを誓っています。SDGs は発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。世界的な視野にたった目標ではありますが、実は、私たちの日々の生活にも密接な関係があります。本号の表面で触れた全校道徳の内容も、SDGsの17のゴールの3・5・10・16・17の目標の達成に関わると言えます。理科や総合的な学習の時間に自然について学んだり、探求をしたりすることは14・15の目標の達成に関わると言えます。

学校における教育活動も、SDGsとの関連を意識しながら進めていきます。